

アクティビティ

◆人気のアクティビティランキング



1 ラフティング・ボディラフティング

「こどもたちが声をかけあって、息を合わせないとまっすぐに進まない。そんな失敗や成功体験から、協力することの大切さを学んでいるというのがとてもいいですね。」と引率者からも大好評！堂々の第一位！

「一人では登れない場所も、手伝ってもらってGOALできたのが嬉しい！」と教室ではなかなかできない、自然のチカラに立ち向かって乗り越える体験が、こどもたちが力強く生き抜くための糧になるはず！50周年の時には1位になっているかも？！



3 キャンプファイヤー・たき火

"火"には一体感を生み出す不思議な力があるようです。キャンプファイヤーを囲むとみんなで盛り上がりつつたり、たき火を見つめながらだと、仲間と語り合うことができたり。"火"には不思議な力があるようです。

「顔がめっちゃ冷たかったけど、こんなに楽しいのははじめて！」日高の冬は冷え込むとマイナス20℃！この厳しい寒さが刺激になって、新しい身体感覚を養うようです。



5 日高アドベンチャー

グループで遊びながら、様々な課題に取り組み、人間関係づくりを促進するプログラム。学級経営や、部活動などのチームビルディングに活用できると大人気。体験者からも「楽しいゲームのなかにも仲間のことを考えたり、自分にチャレンジしたりと、心と頭をいっぱい使いました。」との好評を得ています。

新しいキャッチコピーが「体験の風をおこそう『はじめて。』のたき火と川あそび」。2つとも上位3位に入ってる！やったー！



2 沢のぼり



4 スノーラフティング



むかしはどんな活動が人気だったのかなあ



◆その他の（人気）アクティビティ



ワイルドウォーク



野外炊事



登山



クラフト



歩くスキー



サイクリング



パークゴルフ



サンゴの滝ハイク

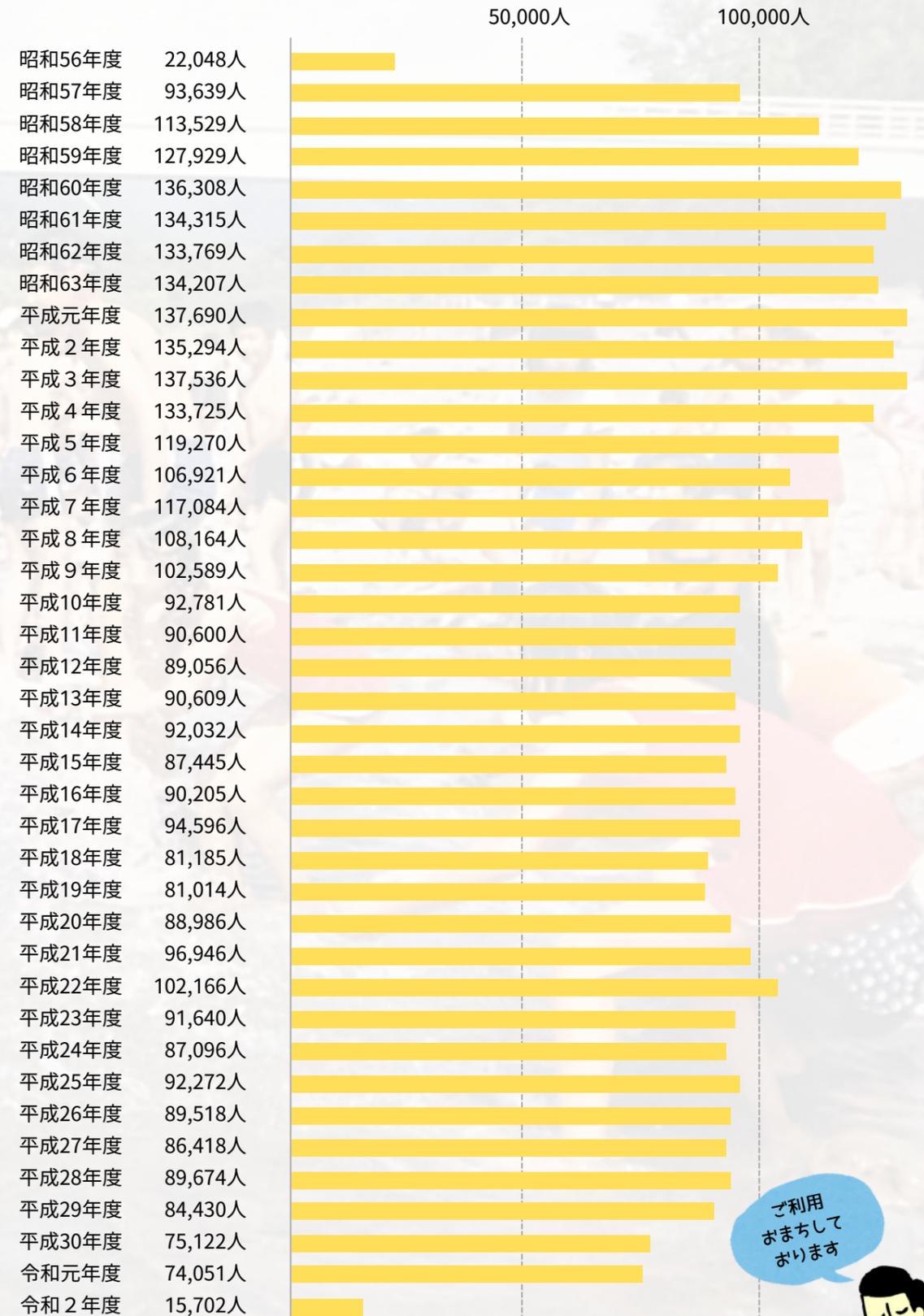


屋内研修



ゲレンデスキー

利用者数の推移

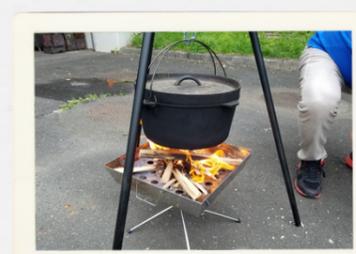


ご利用おまちしております





体験の風をおこそう 「はじめて。」 のたき火と川あそび



施設のキャッチコピーをリニューアル

自然の家は、施設のウリを端的に表すキャッチコピーをリニューアルすると発表。新キャッチコピーは「『はじめて。』のたき火と川あそび」とのこと。清流沙流川の川活動はもちろんのこと、コロナ禍でも楽しめる「たき火」というプログラムを新たに開発したという。

たき火プログラムの開発チームは「やっぱり自然の家に来るんだから、普段の生活や学校では得られない学びを体験してほしい。自然の中でた

き火を見つめてのんびりしたり、グループの人たちと語り合ったり、1人でぼーっとしてみたりと『火』ってなんかいいじゃないですか(笑)そんな時間って、こういう場所じゃないとなかなか体験できないんじゃないかなあ」と開発の苦労を話していた。「今までナイショなんですけど、『たき火』をどのように提供したらより効果的かを検証してパンフレットにまとめようと考えているんです。これがまとまったら、『たき火』の魅力を皆さんにお伝えできるんじゃないかなあ」と加えていた。キャッチコピーにこめられている「はじめて。」は職員のチャレンジにも通じているのかもしれない。

施設の「心臓」を守るために

職員がボイラー運転に取り組み

これまで自然の家は、お風呂を沸かしたり、冬期間の暖房を運転するためのボイラー業務を外部に委託契約していたが、高齢化や立地状況等から契約業者が見つからないため、自然の家職員によるボイラー運転にチャレンジすることを決めた。職員は、ボイラー取扱いのための研修を受講し、早朝、日中、夜間の3シフト体制で自然の家の運営を維持している。



コロナ禍で四苦八苦

それでも子どもたちの「学び」を守る

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、政府から出されたガイドラインに従い、休館や利用制限を余儀なくされた自然の家。子どもたちの教育活動やあそびの機会も奪われている現状を嘆き、自然の家は北海道教育委員会や日高町と連携しながら、ガイドラインを策定し、子どもたちに学びの機会を提供しつづけている。



賑やかなレストランを取り戻す

自然の家の食事といえはバイキング。栄養満点の食事を仲間とわいわいしながら食べるのが宿泊研修の楽しみの一つだ。しかし、コロナ禍では「個食・黙食」がうたわれ賑やかなレストランは過去のものとなってしまった。そんななか、自然の家は少しでも明るい雰囲気のレストランを取り戻すため、飛沫防止用のパーテーションをカラフルに色分けした。これは雰囲気明るくなるだけでなく、色を分けて配席することができ、団体ごとから「児童に指導しやすくわかりやすい」「安心感がある」と好評を得ている。

動画配信による事前指導の充実



利用前に引率者が自然の家を訪問し、活動場所の下見やプログラムを事前に体験する、通称「事前研」の実施がコロナ禍で難しくなったことを受け、自然の家ではユーチューブチャンネルを開設し、施設を案内する動画や、アクティビティを職員が体験する動画を配信している。引率者からは「事前に参加者にイメージをもってもらいやすく、当日の指導がはかどるのでも助かる」と好評を得ているようだ。

自然の家系ユーチューバーは「これからも動画配信を通じて、日高を訪れることができないう子どもたちにも自然体験の良さや面白さを伝えていきたい」と話していた。

また、主催事業や外部委員との会議においてオンラインシステムを活用し、出来る限り中止しないよう努めている。

ライブラリ



からまつキャン プ場に屋根付き 広場が完成

雨天でも快適と好評

この度からまつキャン
プ場に、雨天時でもテ
ントを張ることができる
「屋根付き広場」が完
成。雨が降っても快適に
キャンプ活動ができる
利用団体から好評を得
ているようだ。

「屋根付き広場」は小
学校の体育館程度の広
さがあり、50名程度で
あればレクリエーション
活動や、野外炊事、たき
火等さまざまな体験活
動に活用できる。

自然の家は、毎年か
らまつキャンプ場オー
プンイベントとして、「
屋根付き広場」に町内
会をまねき、地域住民
との交流を深めている
そう。



中庭に「冒険の森」設置

幼児の自然体験活動を推進



木漏れ日さわやかな中庭(玄関ホール横)に、国立青少年教育振興機構が推進する「幼児期に身につけたい36の動き」を自然に体験できるあそび場「ひだか冒険の森」を設置した。

トータムポール 無念の撤去

腐敗が進む巨木に立ち向かう

つどいの広場にそびえ立ち、自然の家のシンボルとして愛されてきた2人のトータムポールが20年の歴史にその幕を下ろした。

トータムポールは自然の家20周年を記念して藤本隆さんが作成したもので、高さ10mを超える巨木から掘り出して命を吹き込まれた。2体の大きなトータム



ポールは自然の家を利用する子どもたちから「トータムさん」「ポールさん」と親しまれ、可動式の腕を動かされたり、よじ登られたりと、マスクットのピグマ(ヒゲマ)も嫉妬するほどの人気者となった。

そんな2人も古い(腐り)には勝てず、安全管理上やむなく撤去する運びとなり、見たことも無い重機により爆音とともに旅立っていった。



自然の家の全てがわかる奇跡の1冊

「要覧」

絶賛無料配布中！
ひだか書房



募集中 ひだか野あそび会員

親子向け事業や小学生向けの事業に参加できるといの特典がある会員制度
※会員制度への登録は無料

会員カードがもらえる
TEL:01457-6-2311